

タンモリ工業会 福岡会議

文責：秦 朋寿

去る 11 月 17 日、福岡国際ホールにて以下の内容で技術ならびに「中国におけるタングステン資源、需給の状況と今後の見込み」の内容で《特別講演》が行われました。今回の講師は中国タングステン協会（CTIA）の副会長で株州硬質合金廠の副総経理である高再栄氏によるタングステン中国事情についての講演が行われた。今回は九州におけるセミナーであったが関東圏、関西圏からも多くの参加者が集まり場内は座る席も無くなるほどの盛況であった。

高講師の講演は「中国はもはや輸出国ではなくタングステンすら輸入国」であると言う中国の内需の発展を示唆する現場に関する報告が参加者を驚かせました。確かにエネルギー資源を初め食料資源の逼迫は理解できるが、中国が世界に冠たるレアメタルの資源までも輸入シフトにあるといった事実に参加者は危機感を強めた次第です。事実、中国の政府は四重苦を矢継ぎ早に発表しました。即ち、①還付税の廃止 ②輸出税 10%の賦課 ③輸出ライセンスの強化政策 ④委託加工貿易の完全撤廃 の 4 政策の発表です。つまり、これまで資源の供給国家であった中国が今後、資源はこれまでのように輸出が出来なくなったという事であります。高講師の発表も「出来るだけ日本のタングステン業界に配慮をした政策を維持する」とは言いながら中国国内の厳しい現実を伝えるという内容でありました。

AMJ の秦中国室長による通訳も現場感覚による実体を報告した為、聴講したタンモリ工業会メンバーも問題意識を新たにしました。講義内容については CTIA の内部事情が多いため公表できない内容もありますがご希望の会員各位についてはメールで送る事も高講師より許可を得ましたので AMJ まで連絡頂ければ開示いたします。

sh-nakamura@amjc.co.jp まで連絡下さい。

なお、タンモリ工業会の講義内容は以下の通りです。

日 時：平成 18 年 11 月 17 日（金） セミナー：12:20～17:10、懇親会：17:15～18:30

1. 場 所：福岡国際ホール 大ホール A（西日本新聞会館 16 階、地階から 8 階は大丸）

福岡市中央区天神 1-4-1 TEL（092 - 712 - 8855）

2. 主 催：タングステン・モリブデン工業会（タンモリ工業会）、幹事会社；日本タングステン(株)

3. プログラム

(敬称略)

(1) 受付				11:30～12:35
(2) 開会の辞	司会	日本タングステン(株)	伊東 祐爾	12:20～12:25
(3) 挨拶	理事長	松下電器産業(株)照明社	重西 孝仁	12:25～12:30
(4) 発表及び講演				
<座長 市田、嶋津>				
1)	LEDの最近の技術進歩とその応用 《特別講演》	日亜化学工業(株) 第二部門 部長	大黒 弘樹	12:30～13:20
2)	タングステン・モリブデン合金粉の開発	日本新金属(株)	林 寛之	13:20～13:40
3)	高速応答避雷器のMo素子開発	東邦金属(株)	柿崎 達哉	13:40～14:00
— 休憩 —				14:00～14:10
<座長 岩本、渡辺>				
4)	モリブデン焼結体の特性に及ぼす焼結条件の影響	(株)アライト [®] マテリアル	角倉 孝典	14:10～14:30
5)	W、Mo系材料の抵抗溶接用電極への展開	日本タングステン(株)	向江 信悟	14:30～14:50
6)	ランプ封止用 Mo-SiO ₂ 系径方向傾斜機能材料の作製	松下電器産業(株)	奥山 彦治	14:50～15:10
7)	タングステン合金およびモリブデン合金の開発	東芝マテリアル(株)	山本 慎一	15:10～15:30
— 休憩 —				15:30～15:40
<座長 合田、奥畑>				
8)	中国におけるタングステン資源、需給の状況と今後の見込み 《特別講演》	中国タングステン協会 (CTIA) 副会長	高 再栄	15:40～17:00
(5) 閉会の辞	理事	日本タングステン(株) 取締役社長	吉田 省三	17:00～17:10

4. 懇親会

セミナー終了後、恒例の懇親会を開催します。

時 間：17:15～18:30 (19:00 終了) 会 場：セミナー会場横 (大ホール B)